

# 一月の保育

及川ふみ

新年を迎へた幼児たちの喜びは大人の想像以上かもしれない。お正月が来る三一つお年がふへるご心からうれしうに待ちわびてゐた。この一つお年が殖えた喜びにつけても、この際幼児たちに小さいながらも自重の氣持を新らしくしたいものである。

よきをこり悪しきを捨てるこの好機新年にあたつて組として反省すべき點、これは専ら保姆自身の反省にまつころが多いのであるが、幼児各兒についてもこの好機をのがさず指導する事を忘れてはならない。殊に幼児の躰の方面に一層好都合の機會である。

次にこの期は室内保育の多い時であるから幼児の衛生體育方面についての立案を充分に考へて實行して見たい。室

内の換氣、合嗽、手洗、室内や戸外の運動に特に注意していたづらに寒さにまごこめられない様にあつてほしい。

第一週 一月八日—十一日

水

始業式 幼兒職員保護者一堂に會して年賀の挨拶

木

唱歌遊戯 ユキ(エホン、シャウカ)

自由畫 お正月の門松、飾、お供餅など。暖房が始まり、お辨當ぬくめを開始、幼兒にお辨當箱の取扱ひについて注意する

自由遊び 羽子つき、双六、カルタ、凧あげ、石けり、

繩さびなぎにつき適當の指導をする

金

お話 氷 觀察ばなし

ヌリエ 福壽草

土

紙仕事 みかんの切り紙(古端書)

第二週 一月十三日—十八日

唱歌遊戯 ユキ

箱のお店

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まる三第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

は文字もかゝせる。

箱のお店は一時に数人づゝの指導で、外の幼児は自由遊  
びか、或は比較的幼児自身だけで出来るものをさせてお  
くのであるが保母の眼界の外におかない様に特に注意す  
べきである。

火

お話 兎の片耳

自由畫 兎の話の繪

水

紙仕事 箱の家つゞき

木

唱歌遊戯 ヌキ

ヌリエ 模様

金

お話

自由畫 凧の繪(毛筆)

土

人形芝居 猿蟹合戦

第三週 二十日—二十五日

月

お話 日曜日の話會ひ

唱歌遊戯 だるまさん

火

紙仕事 箱の家つゞき

水

自由畫 凧の繪(毛筆)

木

紙仕事 水仙の切紙(用紙は古端書)

金

唱歌遊戯 だるまさん

自由畫 凧の繪(毛筆)

土

紙仕事 箱の家つゞき

第四週 二十七日—三十一日

月

唱歌遊戯

自由畫 凧の繪(毛筆)

火

お話

紙仕事 箱の家つゞき

水

ヌリエ

木

唱歌遊戯

紙仕事 箱の家つゞき

金

お話

自由畫 水仙